



## 市民公開講座が

### 開催されました

3月17日、中央公民館にて猿島郡医師会主催、五霞町、境町の共催で市民公開講座が開催されました。

当日は大勢の方が参加し、茨城西南医療センター病院の2人の医師による「タバコの害」と「腰痛・骨粗しょう症」の講話を真剣に聞いていました。公民館ロビーでは西南医療センター病院の保健師による健康相談が開催され、日頃、身体のことなどで悩んでいることを相談していました。医師による講話や保健師による健康相談も大変わかりやすい内容で参加者にはとても好評でした。

## 小福田駐在所に吉田好夫 警部補が赴任しました

3月30日、茨城県警察の定期異動により、小福田駐在所大吉勇警部補が定年退職となり、かわって吉田好夫警部補が赴任しました。

吉田警部補は「地域住民の皆さんとの関係を密にして、信頼を得られるよう治安維持に努め、安全で安心な町にしていきたいと思えます」と話してくれました。

なお、退職された大吉警部補は平成11年3月から約8年間という長きにわたり、本町の防犯並びに交通事故防止にご尽力いただきました。深く感謝申し上げますと共に、今後のご活躍を期待いたします。



赴任された吉田警部補

## 農業講演会が開催されました



3月19日、中央公民館にて、町内野菜生産・出荷組合主催のもと、組合員における販売戦略と経営感覚の向上を目的とした、農業講演会が開催されました。

講演は2部に分かれ、始めに茨城県職員により、全国有数の農業県として更なる発展を目指すため、生産現場の従事者となる参加者の方々に茨城農業の現状と改革指針について講演されました。

続いて、講演会の主題である「直売型農業の課題」について、講師の御農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センターの佐藤農学博士が講演されました。

佐藤先生は、本町の経営構造対策に関連するコンサルタント団の一員として、地域の調査、検討および研究を重ね、成果をまとめるなど、道の駅「ごか」や地域農業の構想に深く携わられた方で、講演会当日は、直売戦略に必要とされる様々なジャンルの統計資料やアンケート結

果を用い、これからの生産・出荷に対する意識、また出荷者自身に求められる活力について解りやすく講演され、参加された組合員は「今後、直売所へ出荷をするにあたり、生産者の責任と消費者との関わりを更に意識していきたい」と述べていました。

今回の講演会をきっかけに、生産・出荷者の更なる販売意欲の向上が促され、オープンから3年目を迎えた道の駅「ごか」を拠点に、地域がますます活性化することが期待されます。

また、今回のような講演会や研修会に参加を希望される方は、産業課までお問い合わせください。

お問い合わせ  
産業課地域産業G ☎(84)2582

## 寄附がありました

小学生の防犯に役立ててほしいと、昨年度に続き寄附がありました。

ご厚志に対し厚くお礼申し上げます。  
常陽銀行境支店  
支店長  
小沼 祐之  
・ミニ防犯ブザー  
100個  
五霞東・西小学校  
1年生に配布しました。

